

彫刻を

さわる

時間

彫刻をさわる場所をつくる

彫刻にじかにさわって鑑賞することは、特別なことなのでしょいか。すべての人に美術を楽しむ、味わう権利があるとすれば、それは、あたりまえのことではないのでしょうか。それはまた、彫刻表現の可能性を開き、「美術」のあり方を問い直すきっかけともなるものであるのかもしれない。

今回のシンポジウムでは、同じ日に大分県立盲学校で実施する彫刻作品鑑賞支援ワークショップをふまえ、その講師などをパネリストに、彫刻をさわって鑑賞することの意義や、その機会を作り、増やしていくための手立て、課題などについて考えていきます。

日時：2021年 **10月6日〔水〕**
18:00～20:00

会場：大分県立芸術文化短期大学
人文棟大講義室

参加費：無料

参加方法：一般参加者はZoomによる
オンライン参加とさせていただきます
〔Zoom定員：200名〕

申込期限：9月30日〔木〕

パネリスト

広瀬浩二郎

— 国立民族学博物館
学術資源研究開発センター 准教授

篠原聰

— 東海大学 教職資格センター 准教授

村上 佑介

— 大分大学 教育学部 講師

高橋 泰佳

— 国東市立国東中学校 教諭

田中 佐和子

— 大分県立盲学校 教諭

ファシリテーター

田中 修二

— 大分大学 教育学部 教授

Web会議ツール「Zoom」でご参加いただけます。
参加希望は申し込みフォームからお願いします。
<https://forms.gle/Xegblpub5PbpWsNj8>

申込先



問合せ先

おおいた障がい者芸術文化支援センター
〒870-0029 大分市高砂町2番33号 iichiko総合文化センター4階
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団内
tel.097-533-4505 (平日9:00~17:00) / fax.097-533-4013

主催／大分大学教育学部 美術講座

共催／おおいた障がい者芸術文化支援センター
大分県立芸術文化短期大学（「芸短フェスタ2021」共催イベント）
日本アートマネジメント学会九州部会

協力／大分県立盲学校

パネリスト・ファシリテーター プロフィール

PANELIST

広瀬浩二郎 (ひろせ こうじろう)

1967年東京都生まれ。13歳のときに失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000年同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。2001年より国立民族学博物館に勤務。現在は学術資源研究開発センター・准教授。「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)の実践的研究に取り組み、「さわる」をテーマとする各種イベントを全国で企画・実施。無視覚流鑑賞法の創始者。

篠原 聰 (しのはら さとし)

1973年東京生まれ。専門は日本近代美術史(美人画)と博物館学。2006年成城大学大学院文学研究科(美学・美術史専攻)博士課程後期単位取得退学。東海大学課程資格教育センター講師を経て、2012年より同センター(現・教職資格センター)准教授。ユニバーサル・ミュージアムの実現に向け、「さわる」をキーワードに、展示物に触れる市民向けの講座や大学にある彫刻のメンテナンス・イベント、さまざまな分野の専門家による“触覚”と彫刻の可能性を議論するシンポジウムなどを実施している。

村上 佑介 (むらかみ ゆうすけ)

1987年愛媛県生まれ。2014年広島大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士(学術)。大阪城南女子短期大学講師を経て、2020年より大分大学教育学部講師。専門は彫刻制作、美術教育。主な作品に《不自由な抱擁》(「第45回日彫展」日彫賞受賞、2015)、《そしてまた夢を見る》(「第46回日彫展」日彫賞受賞、2016)などがある。日本彫刻会陳列委員(2016-)、大学美術教育学会会員(2012-)。

高橋 泰佳 (たかはし やすか)

1989年大分県生まれ。2012年京都橋大学文学部歴史学科卒業。同年、学芸員資格取得。2014年兵庫教育大学大学院学校教育研究科特別支援教育専攻修士課程修了。2014年大分県立別府支援学校を経て、2015年より、大分県立盲学校勤務。2019年12月おおいの障がい者芸術文化支援センターセミナープログラムに協力者として参加する。現在、国東市立国東中学校に勤務(2020年より)。

田中 佐和子 (たなか さわこ)

1976年大分県生まれ。1999年大分大学教育学部小学校教員養成課程卒業。高等学校の勤務を経て、2008年より大分県立新生支援学校教諭。2011年より大分県立日出支援学校、2017年より大分県立盲学校勤務。現在、大分県立盲学校特別支援教育コーディネーターとして視覚障害教育相談を担当する。

田中 修二 (たなか しゅうじ)

1968年京都市生まれ。成城大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士(文学)。専門は近代日本美術史。大分大学教育学部教授。屋外彫刻調査保存研究会運営委員。主な著書に、『近代日本彫刻史』(2018年)など。2007年度より大分市と連携して屋外彫刻作品のメンテナンスを実施。大分県障がい者の芸術活動支援懇談会委員(会長)(2015-16年)、大分県文化振興県民会議委員(会長)(2016年-)。

FACILITATOR

彫刻をさわる場所をつくる

SYMPOSIUM in OITA 6-8pm, October 6, 2021

「不確かな夜」村上佑介, 2021

PROGRAM

- 18:00 開会あいさつ、趣旨説明
- 18:05 大分県立盲学校での鑑賞授業の紹介
- 18:20 鑑賞授業をふまえての意見交換
- 18:20 広瀬浩二郎氏
- 18:40 篠原聡氏
- 19:00 高橋泰佳氏
- 19:10 田中佐和子氏
- 19:20 ディスカッション
- 19:55 閉会あいさつ